



3月号
(第376号)

50th

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

祝！卒業！ 未来へはばたけ

中学3年学年主任 安達 泰二



75回生の皆さん、保護者の皆さま、中学卒業おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策のため、体育館での卒業式ができません。皆さまの気持ちを考えると本当に残念でなりません。みんなの緊張した顔、元気な返事、合唱の響きなど、想像するときにあります。しかし、3月17日が、中学校を卒業する日であることには変わりありません。人生の中でひとつの区切りの日、そして新たに歩み始める日として、心にとめておいてほしいと思います。

さて、高校生ではどんな学生生活を送ろうと思っていますか。「特になし」はだめですよ。そんな人は、4月までの時間にどんな高校生活を送ろうと考えるのかよく考えてください。自分の将来の目標に向かって歩み出さなくてはなりません。夢や目標が叶うか叶わないかは、決意しだいです。強く思いを込めることで、多くのことは叶います。もちろん、何でもすべてが実現できる訳ではありませんが、強い気持ちで歩み続けることで、納得のいく結果が待っていると思います。さあ、どんな高校生活にするか、どんな目標を持つか、よく考えて強く決意してください。いつも言っていました、

うまくいけば good job と自分を褒めてあげましょう。
うまくいなくても good try と自分を励ましてあげましょう。

そして、中学3年間で得た宝物を忘れないでください。それは、いろいろな経験であり、友人との出会いであり、なにより自分の成長であると思います。入学した頃を思い出して、自分の成長を振り返ってください。確実に心も体も学力も成長しています。これから先も、いろいろなことがあると思いますが、自分の力を信じて、自分の成長を信じて、まわりの支えを素直に受けて、歩み続けてください。高校卒業時のさらに成長した姿を楽しみにしています。

新型コロナウイルス感染防止に向けて

新型コロナウイルス感染者数513名（3月10日現在でチャーター便の帰国者及びクルーズ船の乗客乗員を除く 朝日新聞）となり、依然感染者が増加の傾向にあります。すでに本校も3日から15日まで休校になりました。

しかしながら不安ばかり募らせるのではなく、手洗い、咳エチケットなどの一般的な感染症対策に加え、イベントなどには出かけず、できる限り外出を自粛し、自分自身の行動をしっかり管理してください。示された課題にじっくり取り組むこともよいと

第72回卒業証書授与式

298名の新たな旅立ち

2月28日、武庫川女子大学附属高等学校第72回卒業証書授与式が浜甲子園キャンパスで行われました。例年、公江記念講堂で行われてきた卒業証書授与式でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、AV1教室で行われた代表生徒の証書授与の模様を各HR教室に中継し、卒業生全員が参加するというかたちで行われました。

校長の藤森先生は式辞の中で、「この学園をさらに発展させていくのは、今日飛び立つ卒業生、みなさんの力です。中学校、高等学校での学びを基盤に、失敗を恐れずに高いハードルに果敢に挑戦されることを期待しています。情報革命が進み、リアルな人間と向き合うことが少なくなっていく時代にあっても、人と人とのコミュニケーションを大切に、あたたかい社会を築いていってください」とはなむけの言葉を述べられました。

在校生代表の高見知代さん（高2）は、「いつも私たちの前を歩き、導いてくださった先輩方は、私たちの目標であり、憧れでした。自分の時間を割き、何度も丁寧に教えてくださった先輩方。これまで私たちが成長できたのは先輩方の支えがあったからです。本当に感謝しています。私たちが在校生は、先輩方が築き上げてくださった武庫川の伝統を受け継ぐとともに私たちが先輩からいただいた、たくさんのかげがえのないものを、今度は私たちが次に伝えられるように、精いっぱい努力していくことを、ここにお約束いたします」と決意を述べました。

卒業生総代の松本花さんは、今までの学校生活を振り返りました。武庫川フェスティバルでは、「成功の土台にあるものは、個人の努力です。一人ひとりが自分の役割に積極的に取り組むと同時に仲間と話し合い、協力することが成功へ導いたのだと思います。この経験を通して、主体的に考え、仲間と協力することの大切さに気づきました」と述べ、沖縄への研修旅行では、「平成という戦争のない時代が日本に訪れるまでにどれだけの犠牲と、語り尽くせないほどの人々の熱い思いがあったのかと考えさせられました」と思いを語りました。

さらに、所属していたコーラス部について、「この6年間の思い出はすべて仲間とともに作り上げられたものです。毎日のつらい練習のときも舞台で歓声をあげたときも、隣にはいつも仲間の姿があり



ました。ときには肩を並べて切磋琢磨し、ともに練習に励んできた仲間。そんな仲間と数々の貴重な経験ができたこと、そして何よりもみんなと出会えたことが私にとって一番の幸せでした」と振り返りました。そして最後に、「それぞれが目指すありたい姿になれるよう努めていきます。そして、今までのご恩をお返しできる人になります」と、感謝とこれからの決意で答辞を締めくくりました。



「卒業記念植樹」 私たちの想いを受け止めてください

2月26日に、高校3年生が「卒業記念植樹」を行いました。卒業する72回生が選んだのは、ピンクの花を咲かせるハナミズキ。植樹式の生徒代表挨拶で、大藤菜緒さんは「ハナミズキの花言葉には『私の思いを受けてください』というのがあります。桜の散った後に花を咲かせるハナミズキを見るたびに私たちのことを思い出してくださいと嬉しいのです。またハナミズキは10メートルほどに成長すると聞きます。この木のように、私たちもしなやかに成長したいです」と述べました。花を咲かせる日がくるのを、楽しみに待ちたいです。



「第72回高等学校卒業記念講演・ 第4回家庭教育講座」

卒業式を目前に控えた2月26日、特定社会保険労務士の雀部都紀恵氏による卒業記念講演が催されました。演題は『人生100年時代』です。雀部氏は本校のご出身で先輩にあたります。高校卒業から現在までの自身のさまざまな経験をもとに、「働く」とはどういうことをわかりやすく説明してくださいました。また、「人権」や「尊厳」を大切に、共に支えあい、個々の能力が発揮される活力のある社会を共有することが何より大切であるということをお話してくださいました。この先、大学での勉学や研究、就職活動、結婚、出産などを控えた卒業生にとって、この講演はとても有意義なものになりました。

学び舎と在校生と「別れの式」

2月26日に、高校3年生と在校生との別れの式が行われました。雨天のため、残念ながらA・V1教室からの中継でしたが、在校生代表の除本真理さん(高2)が「先頭に立ち、引っ張ってくださった先輩たちの背中を見て、たくさんのお話を学びました。次は私たちの番です。がんばりますので見守ってください」と話すと、卒業生代表の遠藤穂香さんが「私は、このキャンパスでたくさん貴重な経験をしました。一人では到底できなかったことも、みなさんの協力があったからこそ成し遂げられました。経験は必ず力になることを実感しています。後輩のみなさん、これから先いろんな壁にぶつかり、悩むことがあるかもしれませんが、そんなときは、一人で抱え込まずに周りの人を頼ってください。必ず助けてくれる人がいます。みんなで支え合い、学校生活を大切に過ごしてください。私たちはこれから、それぞれの新たな道を切り拓きます。きつと悩み、苦しむこともあるでしょう。そんなときは、ここでの経験を思い出して、くじけず精進して参ります。私たちを温かく見守ってください先生方、後輩のみなさん、本当にありがとうございました」と涙まじりで応えました。



中学卒業を迎えるにあたって

中学3年正副委員長 岡本 茜

中学卒業が近づくとつれて、正副委員長として過ごしてきた数々の思い出がよみがえってきます。中学1年生で学級委員長に任命されたときは、クラスをうまくまとめているのか毎日不安だらけで責任と重圧に押しつぶされそうでした。また、自分のことで精いっぱいになってクラスのことも目を見向けられず、友達と衝突してしまうことが多かったのを覚えています。しかし、学年が上がるにつれて少しずつ慣れて、中学3年生では研修旅行の目標や学年レクリエーションを自分たちで一から考え、実行できるまでになりました。三年間でみんなが楽しめる企画を考えることの難しさ、企画を実行するまでの大変さなど様々な経験をしました。しかし、自分たちで考えたことがうまく成功したり、クラスメイトが笑顔で楽しんでいる姿を見たりすることが、次もがんばろうと自分たちの励みにも繋がりました。正副委員長はいろんな場面でクラスを引っ張っていく立場ですが、決して一人ではできない仕事です。友達、先生方、その他にもたくさんの方の支えや協力があったからこそだと思います。高校でも感謝の気持ちを忘れずに、今まで経験してきたことをさらに活かしてがんばりたいと思います。



15歳の主張 ―今、私はこう考える―

中学3年生全員が取り組んだ「15歳の主張」。そのクラス代表2名ずつが、2月6日に中学3年生全員の前で発表しました。三年間共に学んできた仲間同士の発表は、個性豊かでそれぞれに思いが込められており、素晴らしいものばかりでした。ある人は母の言葉が印象に残り、感謝しているという内容を、またある人は仲間との関わりの中で自分が成長し、さらに、新たな発見をしたという内容を、他にもクラブ活動を通じて努力することの楽しさや先輩を本手にしてそれを後輩に伝えていきたい、と熱く語る人もいました。それぞれが一生懸命に今を生きていること、これからの人生に向かって歩き出すようとしている前向きな姿を感じ、充実した発表となりました。



トビタテ！留学JAPAN報告

松川 実央(高2)

ダンスレッスンはじめ、ふだんの生活を通して私は、ロサンゼルスに住む人たちの人柄が大好きになりました。なぜなら、誰かが一生懸命がんばろうとしているのに対して、笑う人がほとんどいないからです。ロサンゼルスはいろんな人種の人たちで構成されています。なかには訛りがすごい人もいますが、文法がまちがっている人もいるけれど、誰も笑わないし、普通に会話をします。英語が流暢でないことに対して人間的にレベルをつけない文化は素敵だなと毎日思います。日本人は周りの目、評価、結果を気にするため、正直なところ、自分自身に對しても周りに對しても堅苦しく感じていました。けれどもこの二ヶ月間、本当に心が楽でした。帰国してからでも、単語量を増やして、もっと深い話題を議論できるように地道にがんばります。



また、ダンスレッスンはスキルより心の面で学んだことが多かったです。刺激が多く、渡米した頃よりも英語も聴けるようになったし、個性を出して、自分でアレンジして踊ることに慣れて、自分のダンスに集中する余裕ができました。そのためいろんなことを得ることができるようになりました。語学学校は最近、日本からの大学生が増えてきていますが、日本人と話すときも英語で話すように努めています。今では、何か言葉を発することに良い意味で緊張感も抜けて、言いたいことが話せるようになりました。この二ヶ月間は将来に対して大きな刺激になりました。できること、しなければいけないこと、したいことは永遠にあるものだと実感しました。この留学にいろいろな協力してくださったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

自宅学習中の勉強について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月3日から15日まで臨時休業となり、学年の教育活動の締めくくりであった、定期考査が実施できませんでした。学年最後の定期考査に対して、十分な準備に取り組んできていた皆さんにとっては残念なことだったと思います。

さて、考査は無くなったとはいえ、この休業期間中、学習に自主的に取り組めましたか。自宅学習・春休みと、自主的に学習に取り組む期間がまた続きます。ふだん授業がある期間では時間がとれない基礎基本の徹底と実力向上、新年度の学習に支障をきたさないよう苦手科目の克服に取り組むには絶好の期間となります。課題を仕上げるだけでなく、各自プラスαの学習に励んでください。

(教務部 新田 大介)

新型コロナウイルスを予防しよう

私たちの生活に大きく影響を与えている新型コロナウイルスですが、感染予防のためには体調管理と手洗い・咳エチケット・換気が重要です。まもなく春休みに入りますが、規則正しい生活をこころがけ、免疫力を高めて下さい。また、規模の大小に関わらず、人と人が至近距離で会話する場所やイベントにはいかず、屋内ではこまめな換気をこころがけましょう。

(保健指導課 細川 和歌子)

4月行事予定

日	曜	行事予定
1	水	B
2	木	週 ○新入生登校日(於:中高 中学9:30 高校13:00)
3	金	○中1オリエンテーション(9:00) ○他校出身高1オリエンテーション(9:00)
4	土	休業日
5	日	
6	月	A ○健康診断(中1中3:午前 高2:午後)・心電図(中1・校友会)
7	火	週 ○健康診断(中2:午後 高1:終日 高3:午前)・心電図(高1・校友会)・胸部レントゲン(高1)
8	水	○始業式・新任式・対面式(8:45 AV1)・HR・学年集会他
9	木	○中2中3学力推移調査・高2学力リサーチ(+HR・学年集会他) ○高3(50分×3授業+HR・学年集会他) ○中1高1(HR・学年集会・個人写真)
10	金	○45分×6授業+HR
11	土	○高3記述模試(終日) ○高2以下授業・MS タイム
12	日	
13	月	B ○45分×6授業+HR ○高3午後休業日(4/11分) ○中2中3学力推移調査・高2学力リサーチ追試
14	火	週
15	水	
16	木	○中3全国学力・学習状況調査 ○中1学力推移調査・高1学力リサーチ
17	金	○生徒役員任命式(8:35グラウンド) ○全校各委員会(16:00)・代表委員会 ○高2高3追認考査
18	土	休業日
19	日	
20	月	A ○中1学力推移調査・高1学力リサーチ追試 ○内科・運動器検診(2-3限 5-6限 ~24日)
21	火	週 ○家庭教育講座
22	水	○尿検査(1次~23日) ○第1期学費引落日
23	木	
24	金	
25	土	○授業・MS タイム ※○海外研修説明会
26	日	
27	月	B
28	火	週
29	水	昭和の日
30	木	▽学友会役員会(13:30)

※新型コロナウイルスの影響で、予定が変更になる場合があります

☆様々な分野での活躍

【バトントワリング部】

◇第45回全日本バトントワリング選手権関西大会
2/22・23 おおきにアリーナ舞洲
・岡本 華奈(高3)

・山崎優美香(高2)

・塩飽 真子(高1)

フリースタイル個人	出場
ソロトワール女子Sr I	第7位
ソロストラットSr I	第8位
ソロトワール女子Sr I	出場
3バンド女子Sr I	出場
ソロトワール女子Jr II	出場
ダンストワールJr II	出場

この結果、岡本華奈さんは第45回全日本バトントワリング選手権大会に出場が決定しました。

感染症対策へのご協力をお願いします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症の予防には、「正しい咳エチケット」が重要です。

■咳がのどにうつさないために
くしゃみや咳が出る時は、肘の内側やティッシュペーパーで口元を覆い、目を閉じてください。咳やくしゃみのしぶきは2メートル以上飛ぶ可能性があります。

■咳エチケットの正しいやり方
1. 咳やくしゃみをする時は、ティッシュペーパーや袖の内側で口元を覆い、目を閉じてください。
2. 咳やくしゃみが終わったら、ティッシュペーパーを適切に廃棄してください。

正しいマスクの着用

マスクの着用は、咳エチケットの重要な一環です。正しい着用方法を守ってください。

正しいマスクの着用方法

1. 鼻と口を完全に覆う。
2. 鼻の橋をしっかりと密着させる。
3. 目の周りをしっかりと密着させる。

正しいマスクの着用方法

1. 鼻と口を完全に覆う。
2. 鼻の橋をしっかりと密着させる。
3. 目の周りをしっかりと密着させる。